無垢フローリング・集成フローリング　施工手順

1／下地について

モルタル下地の場合

●新しいモルタル下地は、高低差4/3,000mm以下とし、充分に乾燥させます。
●15mm以上の耐水合板をエポキシ樹脂系接着剤または一液ウレタン樹脂系接着剤とコンクリート釘を併用して貼り上げ、接合部は、目違いのないように仕上げます。また、コンクリート釘は150mm間隔程度に打ち、タワミ、踏み鳴りのないようにしてください。

木造下地の場合

●大引きは90mm角以上、根太は40mm×60mm以上で、根太間隔は300mm位（1尺）としてください。
●根太の上に15mm以上の耐水合板を接着剤と釘を併用して貼り上げ、接合部は目違いのないように仕上げます。また釘は150mm程度の間隔で打ち、タワミ、踏み鳴りのないようにしてください。

2／施工上の注意点

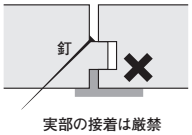
●直射日光や雨が当たる場所、湿度が高い場所での商品の保管はお止めください。
●天然木のため、施工前に仮並べをして色、柄のバランスをご確認ください。その際、商品に不具合がないかご確認の上、お使いください。
●床下の湿気による突上げや、腐れを防ぐために、床下には必ず換気口の設置をお願いします。
●床下コンクリートなど、下地が完全に乾燥していることを確認してから、施工を始めてください。下地が乾いていない場合、フローリングや下地材に反りなどの影響を及ぼす場合があります。
●床下の湿度が高くなりやすい田んぼの近く、川や海辺など、換気が十分にできない場所への施工はお止めください。
●製品は天然木の無垢材を使用していますので、湿度の吸収・発散を繰り返し、若干の伸縮を示します。施工の際は、この点を充分に配慮してください。
●伸縮の影響を抑えるために、施工の1～2日前に床板の梱包をとき、周囲の環境になじませることをおすすめします。

無塗装品を施工する場合の注意点

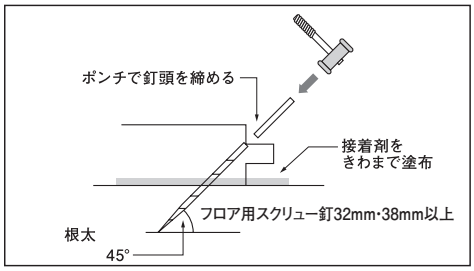
●表面に毛羽立ち等が発生している場合がありますので、塗装を行う前に、サンドペーパー等で表面の木地を整えてください。

3／施工

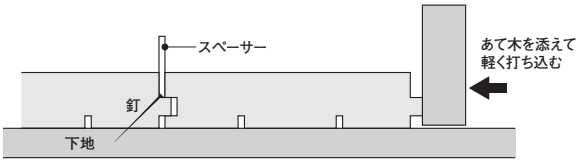
●フローリングは接着剤と釘を併用して施工します。接着剤は一液のウレタン樹脂系接着剤をお使いください。（推奨：ウレタンボンドP117）この時接着剤が実部分に入らないように注意ください。

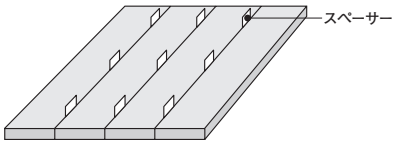


●釘を打つ間隔は300㎜以内とし、釘は32㎜または38㎜のスクリュータイプ、またはリングタイプを使いオス実より45度の角度で打ち込んでください。
●釘頭が残らないようポンチで打ち込んでください。目空きの原因になります。

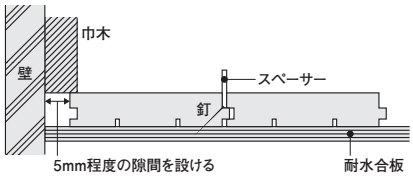


●フローリングを締めて貼り過ぎると高湿時の膨れの原因となりますので注意してください。
場合によってはスペーサーを使いクリアランスを取るようにしてください。スペーサー厚は材厚、材幅に合わせ適宜調整してください。





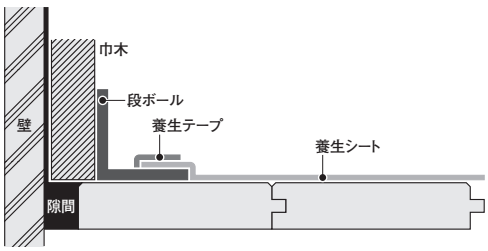
●壁際は突付けずに5㎜程度のクリアランスを設けてください。



●掃き出し等、水濡れや結露などが想定される場合は必ずクリアランスをとりコーキング処理をしてください。

4／養生

●施工後は表面保護のため、床面をきれいに掃除し養生シートで養生してください。この時養生テープは床面には直接貼らないよう注意してください。床表面の塗装に支障が起こる場合があります。また養生は床全体を覆うようにしてください。日焼けで色違いが出る可能性があります。



注意：実際の施工はフローリングの種類(樹種/厚さ/幅 等)に合わせ最適な方法を用い施工ください。